様式第１号（第２条関係）　（表面）

奨学金貸与申請書（記入例）

申請者（奨学生）	フリガナ 氏名	ｺﾞﾉﾍ　ﾀﾛｳ 五戸　太郎	生年月日	平成 〇〇年△月□日	希望する奨学金の金額及び期間	金額（月額） ①　〇〇〇〇〇円
			年齢 性別	〇〇歳 （男）・女		期間　自〇年△月から 至□年▽月まで
	本籍	五戸町字〇〇町△番地□	現住所	②	五戸町字□□町〇〇番地△	
進学希望の学校名		〇〇大学	在学学校名		〇〇高等学校	
修業年限		〇年	卒業予定年月日		令和〇年〇月	

申請者（奨学生）の家庭状況	区分	続柄	氏名	年齢	職業・勤務先（学校名）	職名及び勤続年数（学　年）	年間所得額（A）
	同居して生計を共にする者	祖父	五戸　一郎	６７	無職		
		祖母	五戸　花子	６３	無職	③	
		父	五戸　一男	４５	五戸会社	会社員・23年	
		母	五戸　和子	４４	五戸食品	パート・５年	
	別居して生計を共にする者	兄	五戸　和男	２１	〇〇大学	３年	
	就学者	④	小学生　　名、中学生　　名、高校生　　名、大学生　　１名				

その他の収入状況	例：恩給・年金・扶助料・利子・家賃・土地代・内職収入・臨時収入・生活保護・親戚知人からの援助等その他（　　）	次の合計所得金額（B） ⑤　円	総所得金額　（A）＋（B） ③　円

奨学金の申請理由	⑥ ≪申請理由がわかるようにかつ詳細に記入すること。≫

様式第１号（第２条関係）　（裏面）

表記記載事項については、事実の相違ありません。つきましては、五戸町奨学資金貸付条例に基づく奨学資金を貸与してくださるよう申請します。

なお、貸与の決定を受けたときは、奨学金に係る条例、規則を守り、五戸町奨学生としての責務を果たすことはもとより、奨学金の償還については、誠実にその義務を履行することを確約いたします。

もし、正当の事由がなく奨学資金の返還を怠った場合には、償還期限にかかわらず、償還未済の全額に対する一括返還の請求を受け、又は強制徴収の処置をとられてもご異議ありません。

上記のとおり、連帯保証人と連署して誓約いたします。

⑦令和〇年〇月〇日

申請者（奨学生）　住　所　五戸町字□□町〇〇番地△
氏　名　五　戸　太　郎　㊞
電　話　〇〇〇〇－〇〇－〇〇〇〇

連帯保証人　住　所　五戸町字□□町〇〇番地△
氏　名　五　戸　一　男　㊞　⑧(実印)
電　話　〇〇〇〇－〇〇－〇〇〇〇

保　証　人　住　所　五戸町大字〇〇字□□町△－▽
氏　名　倉　石　中　雄　㊞　⑧(実印)
電　話　〇〇〇〇－〇〇－〇〇〇〇

五戸町教育委員会　様

※備考

1　連帯保証人は、五戸町に居住する奨学生本人の父母、兄姉又はこれに代わる者で奨学金償還の責めを負うことのできる者。

2　保証人は、原則として五戸町に居住し、独立の生計を営む者で、連帯保証人と共に償還の責めを負うことのできる者

3　連帯保証人及び保証人においては、印鑑登録証明書を添付すること。

奨学金貸与申請書の記入の仕方

①金額（月額）
　貸与金額は、下記金額の範囲内において記入すること。
　・高等学校及び高等専門学校１～３学年　　20,000 円以内
　・高等専門学校４～５学年及び専門学校、短期大学、大学　40,000 円以内

②現住所
　申請書提出時の住所を記入すること。

③年間所得額・総所得額
　空欄とすること。
　令和８年１月１日時点で五戸町内に住所がある方は、合計所得金額閲覧同意書を提出すること。
　令和８年１月１日時点で五戸町外に住所があった方は、転入前の居住自治体から保護者の所得証明書（令和８年度）を取得すること。（農業または自営業等を営んでいる場合は、過去３年間分（令和６年度、令和７年度、令和８年度）の所得証明書も取得すること。）

④就学者
　申請者を除いた就学者の人数を記入すること。

⑤左の合計所得欄
　空欄とすること。

⑥奨学金の申請理由
　申請理由がわかるようにかつ詳細に記入すること。

⑦日付
　申請書提出日を記入すること。

⑧連帯保証人及び保証人の印
　実印を押印すること。